# ハート通信 令和5年正月号　通算218号

**優しいハートと確かな医療技術で地域社会に貢献します！**

**年頭所感　本年もどうぞよろしくお願いいたします！　瑞光祥春**

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。　私たちが新型コロナウイルス感染症と向き合い始めて、丸三年の月日が経とうとしています。　　　　昨年はこれまでで最大規模となる「第7波」を経験し、さらに年末から第7波を超える勢いで第8波が到来し、医療ひっ迫状態での年明けとなりました。　　　　当院では昨年12月30日から新年1月1日までの3夜連続で発熱対応夜間当番医を担い、電話が鳴りやむ間もない状態でした。　　また昨年は年間を通じてコロナ患者の往診サポート医、自宅療養者オンコール医、ホテル療養者オンコール医として活動させていただきました。　　また種子田副院長を中心に日々の発熱外来対応とワクチン接種を行ってまいりました。コロナ感染でつらい状況にある患者さんやご家族の少しでも役に立ちたいとの思いから、法人職員が心ひとつとなりコロナに立ち向かった1年でした。
　「地域の皆さんの健康と生命を守ること」とりわけ健康弱者といわれる「高齢者や重症化リスクのある方の命を守ること」は私たち地域医療に携わる者にとって最も基本的かつ最大の責務と考えています。
　気がつけば団塊の世代全員が後期高齢者になる「２０２５年（問題）」まであと２年となりました。超高齢社会の到来です。「健やかに老いる、最期の時までその人らしく生き抜く」ことをこれからもサポートしていきたいと思います。私自身３７歳で開業しましたがいつのまにか今年は還暦を迎える年となりました。これからは次世代に引き継ぐことを考えつつこれまで通り日々全力、日々勉強、日々前進の気持ちで精進したいと思います。法人としては多職種協働による医療介護連携をより一層充実させ「医療・介護・福祉を通じての地域づくり、まちづくりへの貢献」を使命として邁進いたす所存です。
本年が皆様にとって充実した幸多き年となりますよう心より祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

医療法人　優心会　理事長　小野隆宏

　